



林蔵ゆかりの最北端の地で市をPR

北海道稚内市で「稚内みなと南極まつり」が開催

8月2日・3日、間宮林蔵で本市とゆかりのある北海道稚内市で「第62回稚内みなと南極まつり」が開催され、本市の特産品ブースが設けられました。ブースでは、稚内市民の皆さんのご協力により、本市ガイドブックの配布のほか、本市特産品の米、干し芋、味噌ピーナッツなどを販売し、すべて完売！多くの来場者でにぎわい、本市と稚内市のつながりを改めてPRできる貴重な機会となりました。

夏はやっぱり花火がしたい！

伊奈庁舎駐車場で花火を楽しむイベントを開催

8月14日・15日、伊奈庁舎駐車場で手持ち花火を楽しむ「庁舎で花火」を開催しました。住宅街に住んでいるなどの理由で、花火を楽しむことが難しい市民にも花火を楽しんでもらおうと始めたこのイベントも、今年で3回目。2日間で50組188人の方が来場し、参加した方たちは「子どもたちが毎年楽しみにしているイベントです」「来年もぜひ参加したいです！」と話してくれました。



アツい夏が今年もやってきた！

みらいフェスタ 2025 が開催されました

8月2日、日本スポーツ振興パークみらいで「みらいフェスタ 2025（主催：つくばみらい市商工会青年部）」が開催されました。屋外のメイン広場ではグルメブースなどの出店やライブパフォーマンスが、体育館ではフォトフレームやキーホルダーの製作体験が行われ、多くの人でにぎわいました。また、毎年恒例のお菓子まきでは、会場にいた多くの人がステージ前に詰めかけるなど、終始大盛り上がりなイベントとなりました。

中学生が考える市の未来

つくばみらい市義務教育フォーラム 2025 が開催

8月2日、日本スポーツ振興パークみらいで「つくばみらい市義務教育フォーラム 2025（主催：つくばみらい市PTA連絡協議会）」が開催されました。市内各中学校の生徒が「未来のつくばみらい市を考える」をテーマに話し合うワークショップでは、「安全に通学できるようにするには」「古い校舎を大切に維持するには」など、日常で感じていることや未来への希望を込めたさまざまな意見が出されました。そのほかにも、小田川市長や各市のPTA関係者がTX沿線の県立高校のあるべき姿などについて熱い意見を交わすパネルディスカッションなどが実施され、会場の方々が楽しみながら学べるイベントとなりました。

